

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272700691		
法人名	医療法人 仁泉会		
事業所名	グループホーム 小春びより1号館		
所在地 (電話番号)	〒0391801 青森県三戸郡新郷村戸来字金ヶ沢森ノ下24 (電話) 0178-61-7788		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 22日	評価確定日	平成 19年 11月 18日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.68人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬季6,000円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要(7月 25日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.8歳	最低	79歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国立健康保健 五戸総合病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>開設7年目となり、ホーム全体に生活感がにじんでいて、入居者は自由に、ゆったりと過ごされている。職員も穏やかにチームワーク良くケアされている。また、併設施設と連携され、職員の研修体制が確立されている。近くに民家、田園、山々があり自然環境に恵まれたグループホームである。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>危険物の管理については、風呂場にT字カミソリが並んでおりケースに保管するなど注意していく必要はあるが、生活感のある居室作りへの課題に関しては、家族と話し合い、家族の写真などを壁に飾ったり、自分の洗濯物干し台があったりと、落ち着いた空間が出来ている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員一人ひとりが目標を掲げ、取り組むように努めている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域の方々と交流を図るために2ヶ月に1回会議を開催し、民生委員、家族代表、町内会長の方々に参加して頂き、具体的計画(町内会イベント、ボランティアなどの参加)を実行することを目標に努力されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時等に家族の意見、苦情をうかがうようにしている。出された意見に関しては運営推進会議で話し合うように取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議の開催や地域行事への参加、併設施設での慰問行事時に出かけて一緒に参加されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として、自立支援を挙げている。笑顔で元気にチームワーク良く、見守る習慣をつけるようにされている。		地域との交流への取り組みはなされている為、今後地域生活の継続性等の内容も理念に盛り込んでいくことが期待されます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホールへ掲示し、常に理念を基本に介護に取り組むように指導している。職員もしっかりと自覚し、入居者の話を傾聴し、個々にあった介護に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	併設の老健での慰問行事などに参加し、地域の人達とふれあうようにしている。運営推進会議は民生委員、町内会長等へも声がけし、参加して頂いている。地域、学校行事に参加されたり、職員は地域ボランティア活動(ゴミ拾い)などの地区活動に参加している。又、広報誌の配布を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果を踏まえてサービスの向上に努めている。前回評価であげられた(環境作りに生活感を)に対し、家族からの馴染みの物の持ち込みはなかったが、家族写真を壁に貼ったり、本人の作品を飾ったり、洗濯物干し台があったりと生活感のある環境づくりに取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で出された意見や、イベント、ボランティアの情報を取り入れている。実際に金銭出納状況の報告方法の変更など実施されている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	五戸、新郷役場より、入居者情報やイベント情報などの連絡をいただくなど、協力を得ている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、特に取り組みはしていない。		権利擁護についての勉強会の開催や、研修等への参加を期待したい。また、マニュアルの作成にも取り組んでみてはどうでしょうか。
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止に努めているが、勉強会等の機会は設けていない。		虐待について今後、勉強会を開催する予定になっている。全職員が参加し、知識を深めていくことに期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時に契約書、重要事項説明書に沿って説明を行い、了解を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に近況報告、金銭出納状況を報告している。又、面会が少ない家族には手紙で近況、金銭出納状況、ケアプランを郵送し報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や面会時に近況の報告と併せ、意見をうかがい、出された意見に関しては、運営推進会議で話し合うように取り組んでいる。</p>		<p>意見箱などが設置されていなかったため、家族の意見を記入するためのノートなどを用意し、それに対する対応を記録、保管するような取り組みをしてみてもどうでしょうか。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動がある場合は職員会議で話し合い、統一した対応が図られている。</p>		<p>馴染みの関係を築く為に、できるだけ異動を少なくする取り組みや、職員異動があった場合、家族へも手紙などで連絡をするなどの取り組みに期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営母体による全職員対象の定期勉強会への参加や、資格取得に向けた勉強会や研修に参加している。また、個人目標をあげ、取り組んでいる。現在、すでにスタッフの1人は研修を開始しており、「研修発表の手順をつくる為の研修」に月1回参加している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同グループ内のグループホームとは定期的な会議が行なわれているが、他事業所との交流はない。		他グループホームとの交流、見学、情報交換により、新しい情報、知識を得ることもあり、水準の向上につながっていくと思われる為、今後検討されることに期待します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう家族等と相談しながら工夫している	家族主体のサービス開始が多いが、徐々になじめるように家族と相談しながら工夫し、信頼関係を築くよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人が大切にされていることを理解するようにスタッフ間で話し合っており、お互い和やかに生活できるような配慮が感じられる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ろうあ者が1名利用されているが、ジェスチャーで把握するようにしている。温泉に行きたい希望者は連れて行ったり、床屋、墓参りなど、希望は叶えるように実施している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を通して利用者の生活暦や希望について情報収集をした上で、ケアマネジャー、管理者、担当職員が計画作成し、利用者・家族へは、作成後承諾を得ている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な介護計画見直しは、3ヶ月に1回行っている。その他変化時はその都度見直している。家族からは面会時に承諾を得たり、郵送している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同グループ内の施設、協力病院との連携を大切にし、それぞれの状況に合わせて柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のなじみの病院へ家族が付き添ったり、又は、職員が付き添い受診している。変化時は、併設施設の看護師や協力病院と連携し支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>状態変化がある時は、併設施設の看護師と協力体制がとれている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者への声がけに対し、プライバシーに配慮するように指導されている。また、年2回接遇シートをチェックし、個々に見直しを行っている。掲示物については家族の許可を得て掲示している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>施設の日課にそった生活が多いが、職員はゆっくり関わり、利用者はリラックスした様子である。外出希望などがある場合は人数調整をし、支援するようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>朝食は併設施設で作製、配膳されている。入居者が米とぎをしたり、後片付けは係が決めてあり、職員と一緒にされている。調理は行われていないが、利用者との接する時間に重点をおき、ゆっくりとした楽しい雰囲気を感じられる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>毎日午後の時間帯に職員1人が介助し、本人の希望に沿った入浴が出来るよう支援している。平均的に1週間に3～4回入浴されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>下膳、テーブル拭き、洗濯物たたみ、また、猫が2匹いる為その世話など、利用者それぞれに役割分担を定め、日常の業務を手伝っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>併設施設への外出や、病院受診時などは帰りに店に寄り、買い物をする事もある。また、理髪希望時にも、外出支援している。地域行事参加時は出勤スタッフを増やし、対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行わないことを基本にケアにあたっている。また、毎年勉強会も行っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>安全の為に21時～6時迄は施錠しているが、日中は掛けていない。日中必ず職員がホールで見守り、対応するようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災の避難訓練は年2回実施している。地域との協力体制は確立されていない。</p>		<p>運営推進会議に消防団の人も参加されているので、施設の見学など、積極的にすすめて施設を理解してもらい、協力を得る働きかけに期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>メニューは併設施設と同じだが、栄養バランスに配慮したメニューになっている。利用者の状態に応じ、キザミにしたり、一部介助されている。水分摂取量にも配慮している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染防止マニュアルにそった対応をしている。また、インフルエンザの予防接種を実施している。居室に手洗い場があり利用しやすい環境となっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の作品がきれいに飾られ、ソファなどは洗濯されたカバーが掛けてあり、生活感が感じられる。居間も居心地良さそうに過ごされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものの持ち込みはないが、利用者の作品を飾ったり、畳の台を置いたり、広く、居心地良く過ごせる空間になっている。</p>		

 は、重点項目。